

天王みどり学園 学習協力のNPOに たんぽ振る舞い感謝



真剣な表情でみそつけたんぽ作りに取り組む生徒たち

潟上市天王みどり学園の中学部2年生12人が、みそつけたんぽ作りに挑戦し、コメ作りをテーマに1年間取り組んだ「生活単元学習」で協力を受けたNPO法人「草木谷を守る会」(同市)の会員5人に振る舞い、感謝を伝えた。



の園学ひつち天王天るも内こ真んこ藤一
の員会の「会る守谷木草」うお主

生徒たちは、同校の「生活単元学習」の一環でコメ作りをテーマに1年間学習に取り組んだ。同会の協力を得て、学校外の田んぼなどで5月に田植え、12月には脱穀を体験。学校敷地内の田んぼでもコメ作りに挑戦したほか、潟上市ゆかりの農業指導者・石川理紀之

助(1845~1915年)についても学んだ。

みそつけたんぽ作りは16日に、同会の会員を招いて同校で実施。学校で栽培したコシヒカリとあきたこまちを使った。生徒たちは、真剣な表情でつぶしたコメを串に巻き付け、じっくりと焼き上げ、丁寧にみそを塗って完成させた。生徒たちは感謝の言葉を伝えてから同会会員と一緒に味わった。

板橋祐斗さん(14)は「コメの作り方を一から学べて勉強になった」と話した。同会の石川紀行代表理事(77)は「一緒においしく食べられてよかった。生徒たちの頑張りが感じられた」と喜んでいて。土曜に営業し、中学生以下の子どもには無料で食事を提供している。(遠山龍生)

(令和8年3月24日(火) 秋田さきがけ新聞より一部抜粋)